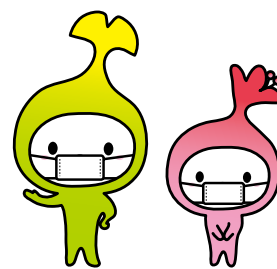


みんなをつなぐ ワクワクふるさと 和光



新型コロナウイルス感染症の
拡大防止にご協力をお願いします

2022年
4月号

No.780
毎月1日発行

〔編集・発行〕和光市企画部秘書広報課 <http://www.city.wako.lg.jp>
〒351-0192 埼玉県和光市広沢1-5 ☎048-464-1111(代表)

広報

わこう



第4期埼玉県通学路整備計画 対策事例(ポール設置)

令和4年度 施政方針

詳しくは次ページ▶

〔今月の主な内容〕 P4 令和4年度当初予算の概要 P5 新型コロナワクチン接種 P5 和光市地域公共交通の基本方針が策定されました ほか

令和4年度 施政方針

はじめに

令和4年2月21日
施政方針演説



昨年5月に市長に就任して、約9か月が経過いたしました。その間、皆様には市政運営にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

市長就任後は、新型コロナウイルス感染症への対応といった差し迫った課題に対応するとともに、「市役所職場体験～柴崎光子のフィールドノート」等の実施により、市政における現場の把握に努めてまいりました。今後も、市民の皆様の生の声や現場の状況を自ら見聞きし、市政運営に生かしてまいりたいと思います。

市長就任からこれまで最も重視してまいりましたのは、新型コロナウイルス感染症への対応です。

新型コロナウイルスワクチン接種事業につきましては、国からのワクチンの供給状況などが刻々と変化する中で、常に難しい判断が求められておりましたが、私自身が陣頭指揮を取り、定期的に会議を設定して、きめ細かな対応を行ってまいりました。

昨年夏から秋にかけての爆発的な第5波の感染拡大の折には、自宅療養者への緊急食料支援を導入するなど、臨機応変な対応をさせてい

ただしました。

現在も、オミクロン株による第6波の感染拡大が猛威を振るい、その対応が喫緊の課題となっておりますが、それと同時に市内経済の活性化やコロナ禍で縮小を余儀なくされていた地域コミュニティ活動の再醸成が重要な課題と考えております。

そのためにも、先日開始しましたプレミアム付商品券事業などにより活性化を図るとともに、感染状況を見極めたうえでのイベント等の再開などに取り組んでまいります。

全国的には人口減少が進む中ではありますが、本市におきましては、これまで進めてきた都市基盤整備による効果や現在進めている様々なプロジェクトへの期待感などもあり、若い世代の流入が続いており、大型商業施設が新規出店するなど、まちに勢いを感じられます。

まちの一層の発展に向けて、さらに尽力してまいりたいと思います。



令和4年度施政方針の基本的な考え方

今回編成させていただきました令和4年度当初予算につきましては、私の市長就任後、初の予算編成となります。限られた財源の中ではありますが、市民の皆様に市長公約としてお約束させていただいたことを少しでも実現していけるよう、予算編成を進めてまいりました。

全体を通じての最重点施策につきましては、都市基盤整備の充実です。

駅北口地区高度利用化の実現に向けて取り組むとともに、国道254号和光バイパスの整備と連動した和光北インターチェンジ周辺のまちづくりを進めてまいります。

そして、駅北口の交通拠点と和光北インターチェンジ周辺の産業拠

点を結ぶ自動運転サービスの導入や市内循環バスの運行見直しなどを含む市内全域における地域公共交通環境の改善を通じて、さらなる高齢化をも見据えた市民の移動の自由を確保してまいります。

こうした一連の取組は、先日、埼玉県が県の目玉事業として推進している埼玉版スーパー・シティプロジェクトの先行事業として位置付けられました。

駅北側の都市基盤整備を、国や県などの関係機関と密に連携しながら、力強く推進してまいります。



各基本目標における令和4年度の主な事業

視点1 日々の生活の基盤が整っている

■和光市駅北口土地区画整理事業

引き続き地権者との合意形成を図り、着実に推進するとともに、駅北口地区高度利用化との事業整合を図るため、事業計画変更や換地計画図書を作成してまいります。また、駅北口地区高度利用化推進事業につきましては、都市計画決定に向けた手続を進め、早期の事業化を目指します。

■都市計画業務

駅北口地区高度利用化や和光北インターチェンジ周辺の産業拠点の整備等を含む和光市版スーパーシティ構想の実現に向けて、立地適正化計画の策定に着手します。

■通学路

第5期埼玉県通学路整備計画に基づき、通学路の安全対策を行ってまいります。

【第5期埼玉県通学路整備計画 対策事例】



対策前



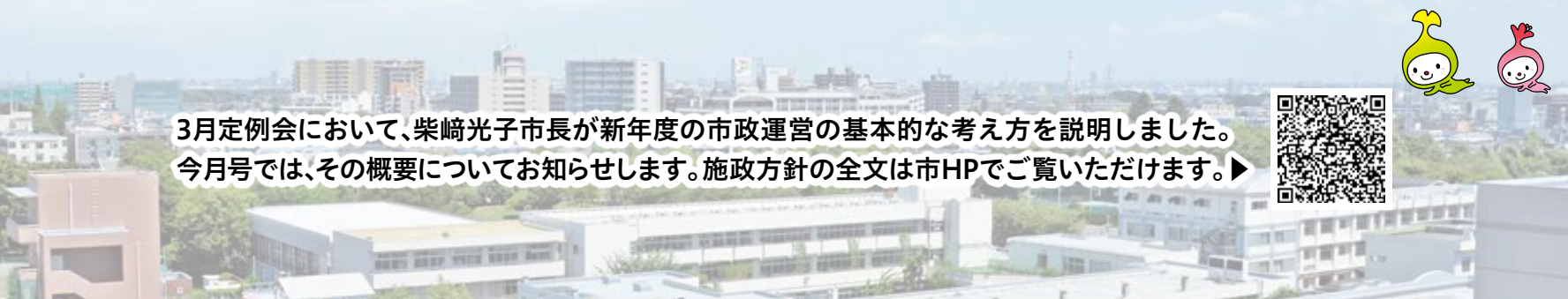
対策後

■交通関連

和光版MaaS事業の実現に向けて自動運転サービス導入に関する1期区間専用レーン整備工事を実施するとともに、試験走行に必要な3次元地図データを作成します。また、市内循環バスの運行見直し及び新たな移動手段の導入が実施されるまでの対策として、公共交通空白地域の70歳以上の高齢者を対象にタクシー利用料の助成を実施してまいります。



●イメージ図です



3月定例会において、柴崎光子市長が新年度の市政運営の基本的な考え方を説明しました。今月号では、その概要についてお知らせします。施政方針の全文は市HPでご覧いただけます。▶



視点2 それぞれのライフステージを充実させる

■ 特別支援学級

児童・生徒の特別な教育的ニーズに対応した専門性の高い教育を実施するため、新たに第三小学校に自閉・情緒クラスを設置します。また、第三中学校における新たな特別支援学級の新設に向けて、設計業務を進めます。

■ 少人数学級

市内小学5年生までの35人学級を国の取組に先行して実施します。

■ 学校施設

広沢小学校のトイレ改修工事を実施します。

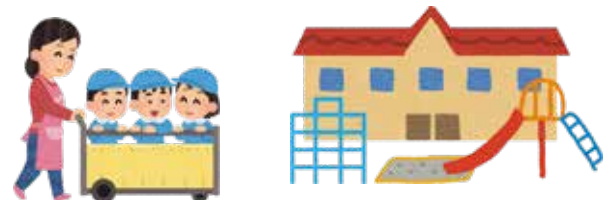
■ 小学校施設整備

第三小学校の建て替えに向けた用地の取得を進めます。



■ 保育センター

保育センターの設置により、市内保育施設の保育の質の確保及び向上を目的として、市内保育施設間の知識・技術の共有・連携の橋渡しをするとともに、市内保育施設の巡回支援や、保育の質の向上のための研修や教材の研究等を行います。



■ 障害者相談支援

よりきめ細かなサービスを提供するため、地域生活支援センターの人員を増強し、相談支援の充実を図ります。

視点3 心豊かに、満足度の高い生活が送れる

■ 和光北インター東部地区

産業拠点の整備に向けて、土地区画整理事業に係る都市計画の変更手続と環境影響評価業務を引き続き進めるとともに、地権者との合意形成を進めてまいります。

■ 和光市総合体育館施設整備

市民が総合体育館を安全、快適に利用できるようにメイン・サブアリーナの照明交換及び特定天井改修工事を行います。



メインアリーナ改修イメージ サブアリーナ改修イメージ

■ コミュニティ施設管理運営

センターの統廃合により、4月から新たに白子3丁目に白子吹上コミュニティセンターを開設し、地域コミュニティの形成促進に努めてまいります。

■ 広沢複合施設わびあ

引き続き、官民連携にて様々なイベントを実施しながら運営してまいります。また、施設内に森林環境譲与税を活用したベンチを設置するなど、今後も広沢地区エリアの魅力向上に努めてまいります。



計画推進に当たっての考え方

■ デジタルトランスフォーメーションの推進

推進のための基盤となるマイナンバーカードの普及に向けて引き続き取り組むとともに、令和3年8月に決定した「和光市DX推進全体方針」に基づき取組を進めてまいります。

■ 不祥事再発防止

職員間のハラスメント防止対策強化を行うため、ハラスメントの相談窓口の外部化を行います。

むすび

結びになりますが、全世界的に感染拡大する新型コロナウイルス感染症の脅威への対応、大災害の要因となる気候変動問題など、世界的な課題が私たちの前には立ちはだかっています。こうした課題に立ち向かっていくためには、市民と行政が一体となってSDGsの推進に取り組んでいくことが必要となりますが、とりわけ重要であるのはSDGsの17個目の目標である「パートナーシップで目標を達成しよう」という考え方であると認識しております。

第五次和光市総合振興計画の将来都市像「みんなをつなぐワクワクふるさと和光」を実現していくためには、社会を分断させるのではなく、パートナーシップを大切にしてい取り組んでいくことが必要です。

市政運営にあたりましては、市民の皆様との対話や関係者の皆様と

の密な連携を通じて、信頼の輪を広げ、パートナーシップに満ちた市政を目指してまいりたいと思います。

また、今回述べさせていただいた取組に限らず、今後も社会の変化や市民ニーズに対応し、新たな取組にチャレンジしていく姿勢を持ち続けていきたいと思います。しかしながら、限りある経営資源を前提とすると、新しい取組をする場合には、従来の取組を見直すといったことも必要になってくるものと考えております。

社会の変化に適応していけるよう、皆様とともに絶えず対話を重ねることで、誰もが輝ける和光市を実現していきたいと思ひます。

